

別紙

公立大学法人大分県立芸術文化短期大学第3期中期目標（案）

第1 目的

公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（以下「法人」という。）は、短期大学を設置し、及び管理することにより、芸術及び文化に関する専門の学芸の教授研究を通じて、幅広い教養及び優れた技能を有し、実践・応用する人間性豊かな人材を育成し、もって大分県の芸術文化の振興及び地域社会の発展といった「創造県おおいた」の推進に寄与することを目的とする。

第2 法人の基本的目標

1 教育

芸術系学科と人文系学科から成る大学の特色を生かし、魅力あるカリキュラムやコースの検討・再編、大分県立美術館や大分県立総合文化センターと連携した実践教育の充実を通じて、質の高い専門教育及び教養教育を学生に提供することにより、幅広い教養及び優れた技能並びに専門的な知識及び総合的な判断力を持ち、広く社会で活躍できる人材を育成する。

また、編入学や専攻科への進学など、多様な進路の選択肢を提供できるような教育を行う。

2 研究

芸術と文化に関する特色ある研究活動を推進し、国内はもとより国際的な視野に立った研究成果を創出する。

3 社会貢献

地域社会のニーズに応え、開かれた大学として、生涯学習講座の充実など、県民に広く学習の機会を提供するとともに、大分県立美術館や大分県立総合文化センターとの連携等により、教育研究の成果を積極的に地域社会に還元し、県民の芸術文化活動や地域づくりへの支援、産業界との連携を図ることで、大分県の発展に貢献する。

4 組織運営

理事長・学長のリーダーシップの発揮をはじめ、経営や財務の適正化と効率化を図るための組織・人事体制を整える。

また、業務の適正を確保するための体制の整備を図り、運営の透明性の確保に努めるとともに、公立大学法人としての説明責任を果たす。

第3 業務運営に関する目標

1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

(1) 中期目標の期間

平成30年4月1日から平成36年3月31日まで

(2) 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、別表に掲げる学科及び専攻科を置く。

2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 教育

ア 教育の内容と到達目標

芸術と文化に関する専門的な知識と技能、総合的な判断力と課題解決力を有し、社会で活躍する実践力・応用力を持った人材を育成する。

また、地方創生の実現に向けて、芸術系学科と人文系学科から成る大学の特色を生かし、学科横断的な教育を展開し、地域づくりや産業の発展に、芸術文化の創造性を生かして寄与する職業人を育成する。

この目標を達成するために、本学の特色を生かすとともに、地域課題にも応じた適切なカリキュラムやコースのあり方の検討を行い、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の運用により、教育活動の充実を図る。

また、学生の学修成果・成長過程を把握し、教育成果の向上に努める。

イ 教育の実施体制

学修効果を高めるために、専門教育及び教養教育のカリキュラムを点検・評価し、地域や企業、行政と連携した実践的な教育活動を取り入れるなど改善に役立てる。

また、I o T (Internet of Things) の進展、クリエイティブ産業への挑戦など、社会情勢や地域社会における教育ニーズを的確に把握し、教育の実施体制を絶えず検証するとともに、教育環境の整備と充実を図る。

ウ 学生への支援

一人ひとりの学生が、自ら目標を設定し、その達成に向けて学ぶことができるように学修支援と生活支援を充実させる。

また、個々の学生に応じた進路支援を充実させ、職業人として又は進学して新たな道に踏み出せるよう指導し、職域の拡大や学修意欲向上を図ることで、高い就職率・進学率を達成する。

さらに、留学生や障がいのある学生、社会人の学生が安心して学修できるように支援内容の充実を図る。

エ 入学者の受入れ

大学の教育目的と芸術文化の魅力を社会に周知し、意欲的な学生の確保に努める。
また、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、適切に入学者の受入れを行う。

（２）研究

ア 研究の方向

産業の発展に資するなど、質の高い研究活動を推進するとともに、作品制作・演奏などの創造的な表現活動を展開する。

また、他大学、芸術文化や産業振興の関係団体、企業、試験研究機関等と連携して、学際的又は複合的な研究を展開するとともに、研究成果を積極的に地域社会に還元する。

イ 研究の実施体制

研究活動を推進するために、大学運営における各種業務の円滑化を図る。
また、研究環境の改善に努めるとともに、研究成果の適切な評価を行う。

（３）社会貢献

ア 地域社会への貢献

地域社会のニーズに応え、地域に開かれた大学として、生涯学習講座の充実など、県民に広く学習機会を提供する。

大分県立美術館や大分県立総合文化センターとの連携をはじめ、地域社会、自治体、他の教育機関、企業・NPO法人等との連携を推進し、県民の芸術文化の向上や地域づくり、産業の発展に貢献する。

イ 国際交流の推進

海外の教育機関等との連携による国際交流の取組を推進するとともに、大学が有する資源を活用し、地域の国際化に貢献する。

（４）その他の目標

ア 大分県立芸術緑丘高等学校との連携

高大連携による人材の育成や学生の確保に向けて、大分県立芸術緑丘高校との連携強化を図る。

3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 運営体制

理事長・学長がリーダーシップを発揮できるようマネジメント機能を強化するとともに、機動的・戦略的な大学運営に向けた教員・職員それぞれの資質・能力の向上と教員・職員の連携体制を確保する。これにより法人の掲げる教育、研究及び社会貢献に関する基本的な目標を達成するとともに、学外から登用する役員や委員の意見を積極的に取り入れ、地域に開かれた大学運営を推進する。

業務の適正を確保するための体制の整備を図るとともに、事務の遂行の合理化及び簡素化を図り、専門性の確保のための事務局の組織及び事務の遂行体制について継続して検討を行う。

(2) 人事の適正化

教育研究組織及び事務局組織の業務内容や専門性に応じて、多様な方法により幅広い分野から優秀な人材を確保するとともに、教職員の能力向上及び組織の活性化を図る。

業務に対する教職員の意識・意欲及び能力を高めるため、教職員の評価制度について継続して改善・充実を図る。

(3) 業務の選択と集中

予算と人的資源を最大限に生かして大学経営を行うため、講座や社会貢献事業等の成果を評価した上で、ニーズの高い事業を重点的に実施するなど業務の選択と集中を図る。

4 財務内容の改善に関する目標

(1) 事務等の効率化及び経費の抑制

経費抑制に対する点検・見直しを行うとともに、教職員の意識改革を進め、法人運営費の効率的な執行に努める。

教育・研究の戦略的な取組に資するため、計画的な利益剰余金の積み立てができるよう方針を定めて取り組む。

(2) 自己収入及び外部資金の獲得

経営の安定化を図るため、授業料等の学生納付金及び公開講座講習料等の受益者負担金については、適正な金額を定め、確実に収入する。

また、研究費等外部資金を獲得するための支援体制を充実させ、全学的に取り組む。

(3) 資産の適正管理及び有効活用

法人の資産を適正に管理・運用するとともに、大学の施設・設備を有効に活用し、地域社会への貢献を図る。

大学や研究者が保有する知的財産を活用し、学術研究の発展及び社会生活の向上に貢献する。

5 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 自己点検及び自己評価の充実

教育、研究、社会貢献及び組織運営の状況について、毎年度自己点検及び自己評価を行い、併せて第三者評価を受ける。

また、それらの結果を公表するとともに、大学の活動及び組織運営の改善のために活用する。

(2) 情報公開や情報発信の推進

公立大学法人として、県民をはじめ社会への説明責任を果たし、大学の活動に対する県民の理解や参加を求めめるために、大学の教育研究活動・社会貢献の成果及び運営の状況に関する情報を積極的に公開するとともに、効果的な情報発信に努める。

6 その他業務運営に関する重要目標

(1) 施設・設備の整備と活用

キャンパス整備を着実に実行し、完了させるとともに、法人の掲げる教育、研究及び社会貢献に関する目標を達成するため、計画的に必要な施設・設備を整備し、活用を図る。

(2) 大学の安全管理

学内における事故や犯罪及び災害の発生を未然に防止し、安全・安心な教育研究環境を実現するために、安全衛生管理体制及び防災・防犯体制の充実・強化を図る。

(3) 情報セキュリティの確保

個人情報をはじめとする各種情報の外部への漏洩等を防止するため、情報の保護や管理を適正に実施する。

(4) 人権尊重の推進

学生及び教職員の人権意識の向上を図るとともに、人権侵害や各種ハラスメントを防止するための取組を推進する。

別表

学 科	美術科	美術専攻
		デザイン専攻
	音楽科	
	国際総合学科	
	情報コミュニケーション学科	
専攻科	造形専攻	
	音楽専攻	